

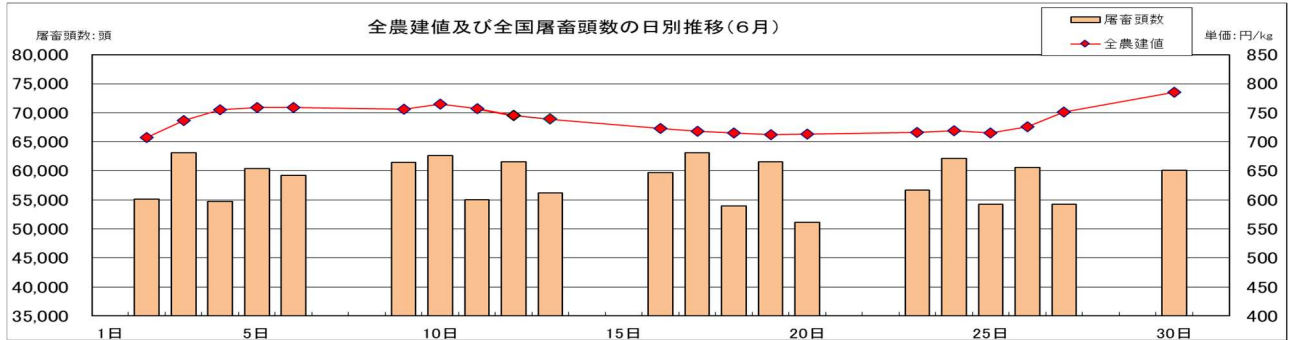
肉豚インフォメーション（6月）

●6月の動向

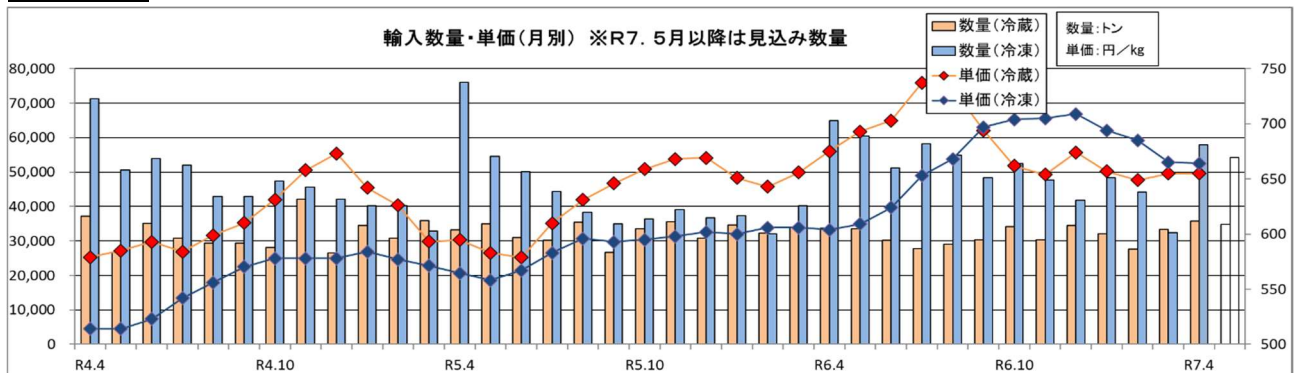
2025年6月（税抜）	2024年6月（税抜）
737 円/kg（44 円高）	693 円/kg

※全農建値

各地で真夏日を記録するなど、全国的に気温が上昇。夏場を前に出荷頭数は減少し、屠畜頭数は5万頭台前半となる日もあった。また、消費者の節約思考も根強く、末端消費は鈍いものの、頭数の少なさから高値相場を維持する展開となった。

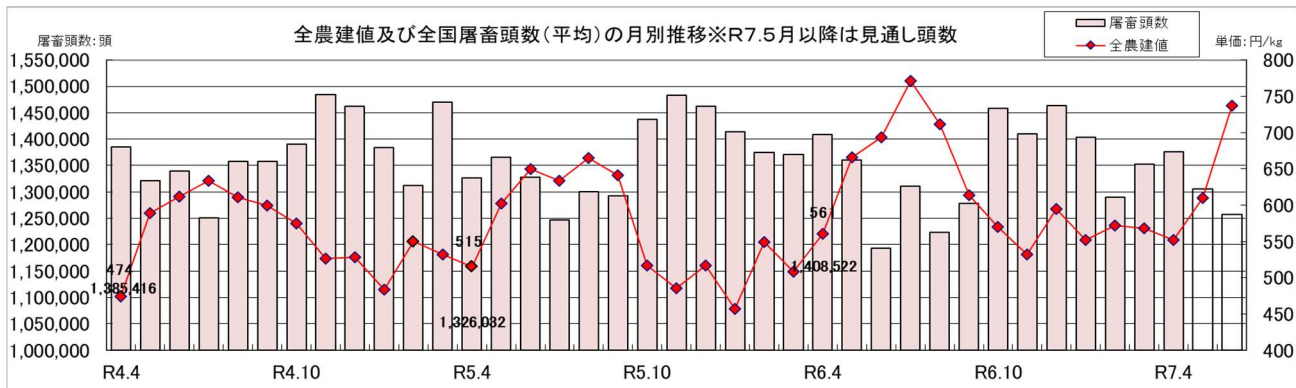


●輸入動向



●7月の動向

出荷頭数について、前年同月比やや減、相場については、高値を維持する予測。



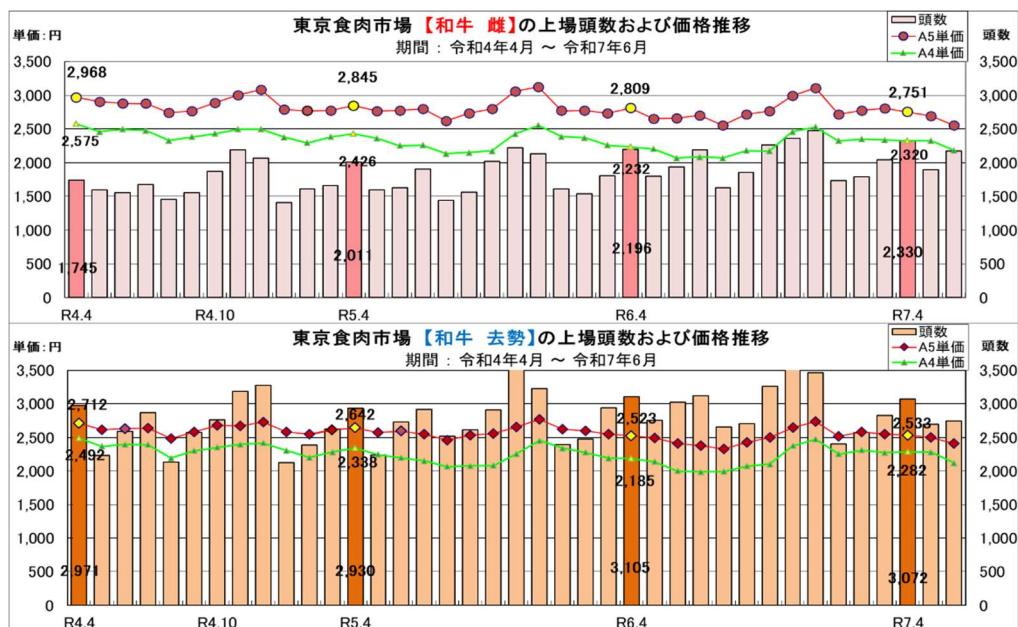
下旬から夏休みに入り、行楽需要などの増加が見込まれるが、昨年の酷暑による繁殖障害や6月からの暑さの影響で出荷頭数は減少し、高値での相場展開が予想される。

全農建値（税抜）予測レンジは750円～800円とする。

肉牛インフォメーション（6月）

● 6月の動向

節約志向などにより末端需要が低迷している中、出荷頭数が増加したことで、相場は和牛・交雑ともに軟調、とくに和牛では各等級で 100 円程度下落した。



● 7月の動向予測

今年の7月は参議院選挙の期間が重なる。例年、選挙時期は飲食店等への荷動きが鈍くなる傾向があることから、月前半は厳しい相場展開が予想される。中頃からは、後半の3連休と夏季商戦に向けた引き合いがあり相場は若干回復すると予測する。

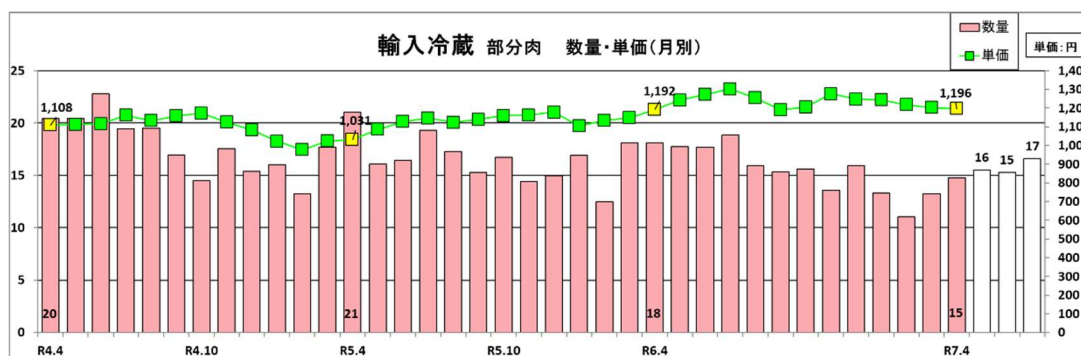
7月相場は「弱もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5 等級 2,400 円（税込み） A4 等級 2,100 円（税込み）

交雑去勢 B4 等級 1,650 円（税込み） B3 等級 1,550 円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品は、国内需要が低調にある中、為替相場や現地価格の高止まりの影響等により、主要輸入先を含むほとんどの輸入先からの輸入量の減少が見込まれること等から、6月、7月ともに前年同月をかなり大きく下回ると予想する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなり大きく下回ると予測する。（ALIC 牛肉の需要予測について 6月26日）



食肉インフォメーション（6月）

●6月の動向

○牛肉

6月は父の日に合わせたメニュー提案として、ロイン系等の動きが期待されたが、依然として消費者の節約志向は根強く、和牛・交雑牛ともにスソ物中心販売となった。

○豚肉

梅雨時で行楽需要は低迷する時期だが、下旬は例年よりも暑い日が多く冷しゃぶ用でバラやカタロースの引き合いもみられた。末端消費は変わらずウデ・モモのスソ物や挽材に集中した。

●7月の動向予測

○牛肉

米価の高止まりにより、消費者の節約志向が強まり、外食需要や高価格帯である牛肉の消費が低迷することが懸念される。

乳用牛は牛乳の生産調整の影響で頭数が減少しており、交雑の供給も限られるため、高値での販売が見込まれる。

○豚肉

7月は暑さによる豚の供給不足から、豚肉価格の高騰が見込まれ、末端消費は鈍い状況が続くと予想される。販売はウデやモモといったスソ物を中心とした動きになる見込み。

下旬から夏休みに入ることに伴い、BBQや行楽需要が期待されるため、バラやカタロースなどの焼き材の消費が見込まれる。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和7年5月期） 単位：千円、%

年度	J A どきどき	給食	仲卸関係	食肉専門店	量販店等	飲食店	合計
令和5年度5月	24,859	8,644	32,334	19,547	8,273	5,738	99,395
令和6年度5月	24,506	7,048	28,573	21,604	9,978	5,708	97,417
令和7年度5月	27,039	6,140	33,965	16,360	9,193	4,931	97,628
増減（R6-R7）	2,533	-908	5,392	-5,244	-785	-777	211
対比（R5-R7）	109%	71%	105%	84%	111%	86%	98%
対比（R6-R7）	110%	87%	119%	76%	92%	86%	100%